

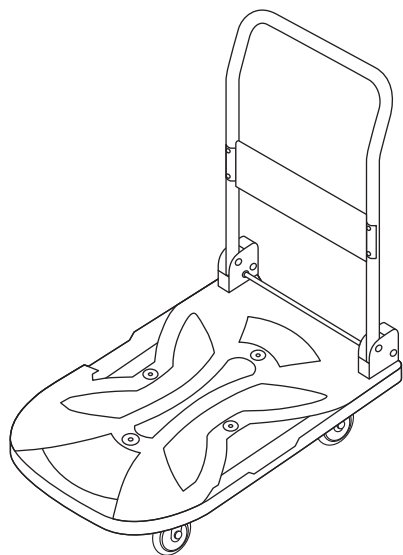
SKY RARY スカイキャリー [SKC]

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げくださいますようお願いいたします。

この説明書は、この製品の使い方(使用上の注意事項)組立てについて記載しています。組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。また、この製品を末長くご利用いただくために、この説明書は大切に保存してください。

尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客様相談室までご連絡ください。



S サカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

お客様相談室



0120-575101

No. 5004 24J-1

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

1. 製品の均等分耐荷重（全体に均等に物を置いた場合）は、200kg
2. 積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
3. 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
4. この製品は運搬車であって人を載せる台車ではありません。転倒や転落事故の原因となりますので絶対に人は乗らないで下さい。
5. 収納物がはみ出したり高く積み上げた状態でご使用にならないで下さい。落下等の事故の原因となります。
6. 不安定な荷物や重量に偏りのある荷物はのせないで下さい。
7. 傾斜地では使用しないで下さい。本体が転倒する恐れがあり、人や物に当たりけがや破損の原因となります。
8. 凹凸の激しい通路での使用は絶対しないで下さい。変形や破損、及び転倒事故の原因となります。
9. 移動時、後向きで引っ張ったり走って押さないでください。急旋回等予期しない動きをして積載物の落下や作業者の転倒等事故の原因となります。
10. 使用中にネジやパーツのゆるみなどがガタツキが生じたときは組み立て方にしたがって、締め直して下さい。緩んだまま使用していると、変形や破損及び転倒の原因になります。
11. 製品の分解・改造や部品を外したり、外したまま使用しないで下さい。
12. 可動部の隙間に指を入れますと、指を挟む恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
13. この製品は運搬車であって荷置台ではありませんので、長時間置いたままにしますと、キャスター故障の原因になり、強いては事故の原因となりますので、運搬後は必ず荷物を降ろして下さい。
14. この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

◆使用上のご注意

1. この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障やさびの原因となりますので使用しないで下さい。
2. 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
3. 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
4. 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷やサビの原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
5. 消耗部品には寿命があります。キャスター部や可動部などに、異常音等（損耗現象）が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
6. キャスター、アジャスター等は床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
7. 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
8. 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

1. 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
2. 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行って下さい。

※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。

キャスター交換方法

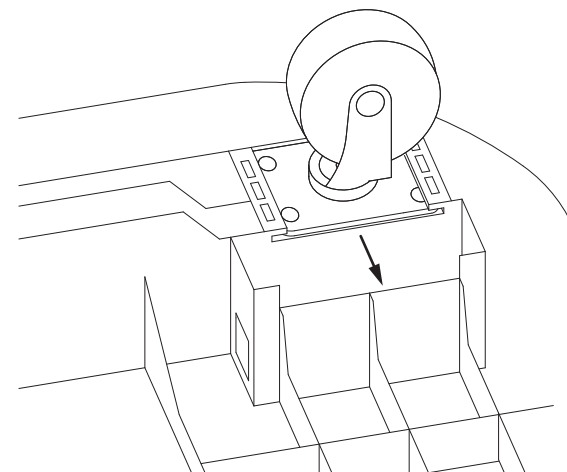
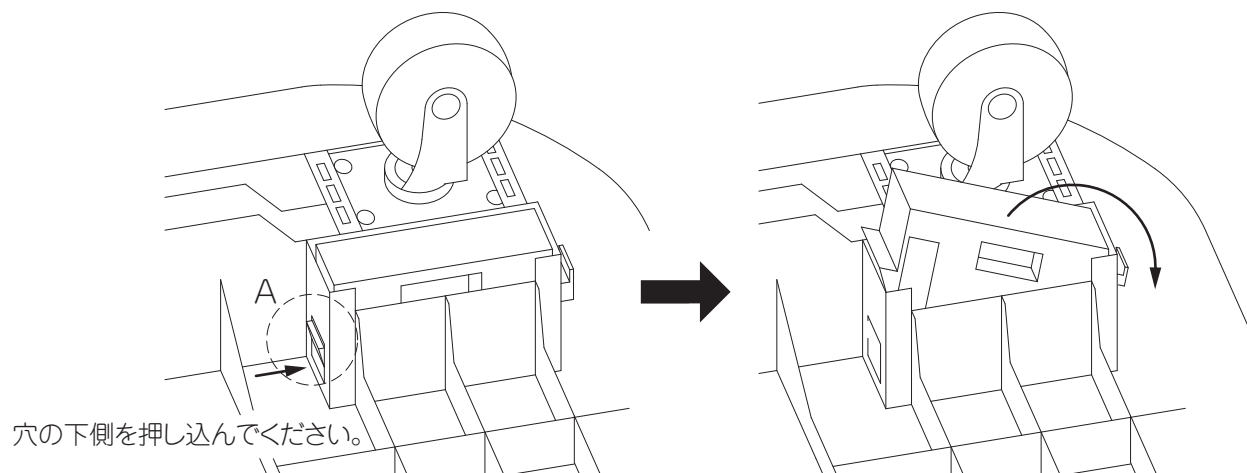
(注意) 作業時は必ず軍手を着用する等、手を保護する方策をとってください。

この製品は樹脂製のパーツで固定されています。ボルト・ナットを使用していないのでキャスター交換が安易に行えます。

① 下図のAの位置に指を差し込みストッパーを中に押し込みながら上に持ち上げてください。

図のように回転させると外すことができます。

② キャスターを矢印の方向に引き抜きます。



③ 交換用のキャスターを図の位置に差し込んでください。

④ ストッパー斜めにして図のようにBの穴位置に差し込んでください。

ストッパーを回転させながらAの穴位置にカチッと音がするまで差し込みます。

